

EmbodiedCO2 から考える 建築物のつくり方・つかい方

歴史ある建物が次々と姿を消しつつある今、再生部会では、既存建物の保存活用は新たな価値を生み出すだけでなく、地球環境にも配慮した建築デザインのあり方であると考え、その重要性を広く発信しています。

近年、建築分野では建設から解体までのライフサイクル全体にわたって排出されるCO2量、いわゆる「エンボディド・カーボン（Embodied CO2）」が注目されています。そこで今回、この分野の第一人者である横尾昇剛氏を講師に迎え、建築物の「つくり方」「つかい方」をCO2削減の視点からお話ししていただきます。

どなたでもご参加いただけます。ふるってご参加ください。

日時

2025年7月11日(金)

18:00 開演 (17:40 開場, 20:00 修了予定)

会場

JIA 館1階 建築家クラブ (渋谷区神宮前 2-3-18)
および ZOOM 配信のハイブリッド方式

申込み：参加ご希望の方は下記または右下 QR に登録して事前入金をお願いします。開催前に ZOOM アドレスをお知らせします。

<https://jia250711saiseibukai.peatix.com/>

資料代：500 円

問合せ：登録がうまくできない方は下記までご連絡下さい。

contact@renovation-archive.com

主催：JIA 関東甲信越支部 再生部会

CPD：2 単位 (申請中)



よこお のりよし

講師：横尾昇剛

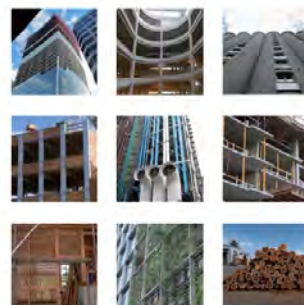
宇都宮大学地域デザイン科学部 教授

講師略歴

学歴： 1992 年 早稲田大学理工学部建築学科 卒業
1994 年 早稲田大学理工学研究科建設工学専攻 修了
学位： 1999 年 3 月 博士 (工学)
職歴： 1994 年 4 月 早稲田大学理工学部建築学科尾島俊雄研究室研究員
1995 年 4 月 宇都宮大学工学部助手
1999 年 4 月 カナダ ブリティッシュ・コロンビア大学客員研究員
2003 年 4 月 宇都宮大学工学部助教授
2017 年 4 月 宇都宮大学地域デザイン科学部教授
2025 年 4 月 宇都宮大学地域デザイン科学部長 現在に至る
研究分野：建築都市環境工学、地域エネルギー
社会活動：IEA EBC Annex57 Evaluation Embodied Energy and CO2 for Building Construction 委員 (2011.9-2016.10)
日本建築学会地球環境委員会委員長 (2023.4-2025.3)
栃木県環境審議会気候変動部会長
2050 年とちぎカーボンニュートラル実現に向けたロードマップ評価・検証委員会委員長
受賞歴： 2010 年 5 月 空気調和・衛生工学会 (技術賞)
2015 年 6 月 建築設備技術者協会 カーボンニュートラル大賞
2020 年 5 月 空気調和・衛生工学会 (特別賞十年賞)
2020 年 12 月 アジア都市環境学会論文賞

IEA EBC ANNEX 57 Summary Report

Evaluation of Embodied Energy and CO_{2eq}
for Building Construction



Edited by
Norikazu Nakai, Chukyo University
Kazuo Yamaguchi, Nagasaki University

EBC 57



講師：横尾昇剛氏